

令和2年度 教育課程特例校における教育課程に基づく教育の実施状況

1 教育課程特例校としての取組

- ・1・2年生は担任とALT、3・4年生は非常勤講師とALTにて外国語活動の授業を行っている。5・6年生は外国語専科教員とALTにて外国語科の授業を行っている。
- ・中学校教員による「出前授業」を実施することにより、中学校の授業を体験するとともに、小学校での学習活動が中学校に進学してから役立つことを実感できるようにしている。「出前授業」や「授業参観」の実施は、小中連携にもつながっている。

2 学校評価（自己評価）

自 己 評 価	
成 果	<ul style="list-style-type: none">・授業以外でALTと廊下で会ったときなど、児童が進んで英語であいさつする姿が日常的に見られるようになった。・低学年から外国語に慣れ親しんでいるので、外国語に対す抵抗がなく、進んでコミュニケーションを図ろうとする児童が増えた。・クラスルームイングリッシュを少しずつ理解できるようになってきた。・様々な国の文化等について学んできたことにより、児童は外国語を身近に感じたり、外国の生活の様子等についての理解を深めたりすることができた。・研究授業や研修等を通して、教職員が、実践的に外国語活動および外国語科の指導方法を学ぶことができた。
課 題	<ul style="list-style-type: none">・個人差があり、同じ授業内容でも易しく感じる児童と難しく感じる児童がいる。すべての児童が「楽しい」と感じる授業づくりが課題である。・コロナ禍により、マスクをしたままでの授業なので、表情がわかりにくかったり、発音のときの口の形がうまく伝わらなかったりしたのではないかな。